

令和 8 年 6月定例会の審議結果

議員数=19名 表決参加議員数=18名 ※議長は表決には加わりません。

全議員が賛成した
議案(可決・同意)

市長提出議案

予 算	令和8年度坂出市介護保険特別会計補正予算(案) (第1号)など 2件
条 例	坂出市税条例の一部を改正する条例制定について など 5件
その他	物品購入契約についてなど 6件

議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【提出議案等・審議結果】を
御覧ください。

可決

賛成17名
反対1名

市長提出議案

工事の請負契約について(設計施工一括請負契約)
令和8年度坂出市一般会計補正予算(案)(第1号)

原案可決に賛成

鳥飼由衣、渡辺拓馬、小笠原浩、植原 泰、山下真司、角野正明
丸岡豊和、東原 章、山条真嗣、若谷修治、寒川佳枝、若杉輝久
茨 智仁、斉藤義明、楠井常夫、大藤匡文、大前寛乗

原案可決に反対

篠原光一

議案第10号 工事の請負契約について(設計施工一括請負契約)に関する意見概要

反対意見 (要旨)

坂出市再編新校(前期)整備事業に係る設計施工一括請負契約に反対します。
第1の理由として、この契約は、小学校の統廃合と小中一貫教育を推進する施設を整備するための契約であります。小学校の統廃合が進めば、子供たちにとって通い慣れた小学校がなくなります。また、地域コミュニティーは小学校を基礎として成り立っていることから、地域の弱体化を招き、地域の過疎化をさらに進めることが懸念されます。さらに、小中一貫教育についても、子供たちにもたらすデメリットが懸念されることです。
第2の理由は、小規模校教育の教育的効果について十分な検証が行われていないまま、国の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」に基づく再編新校整備が進められていることです。
第3の理由は、学校施設の長寿化という選択肢もあったはずだということです。学校の再編を検討する際には、子供の教育を受ける権利を保障する視点と併せて、学校が地域社会の中で果たしている役割や価値、そして、地域社会を持続させる上での重要性という視点から考える必要があります。
以上の点から本議案には賛同いたしません。

賛成意見 (要旨)

学校再編の問題は今から約20年前からの課題であります。長きにわたり、多くの関係者の方々に御尽力いただいたことに対し敬意を表する次第です。
PTA役員会のたびに、学校再編について当時の役員からも様々な意見が交わされたことが記憶に残っています。また地域自治会等の集まりでも度々話題に上がり、その議論の結論はいつも決まって「児童生徒のために、最善の方法をとってもらいたい」といったことです。
東部・金山・西庄小学校3校と東部中学校1校を統合し、現東部小学校の敷地に整備すると決まっても、なかなか事態が進まないことに、地域の方や保護者の方からは心配の声を多くいただきました。その声の多くが、「子供たちのために、一日でも早く整備をしてほしい、整備をするなら子供たちにとってよい学校にしてほしい」といった声であります。先日の新聞報道において、新しい学校の外観イメージ図が示され、多くの子供たち、保護者、そして、地域住民が希望に胸を膨らませています。
この議案は、学校再編によって教育の質の向上を図るとともに、未来を担う子供たちの成長や、夢や希望につながるものでもあります。対象校区に在籍している乳幼児、児童生徒のみならず、将来坂出市内で誕生する子供たち、また編入してくる子供たち、そして保護者や地域住民のことを一番に考えて、この議案に賛成とします。

6月定例会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市農業委員会委員

石井 淑雄	猪熊 幸雄	大原 眞路	大平 憲行	河合 宏昭	北村 秀行
木渡路 弘	木下 得代	田中 繁行	原 武信	富木田好正	本条 仁史
松井 清裕	三木 洋一	山下 恵	山本 茂	横井 博文	好井 孝司